

松戸市長 本郷谷健次様  
松戸市危機管理課御中

## 防災対策に対する要望書

日本共産党松戸鎌ヶ谷地区委員会 地区委員長 横堀渉  
千葉県議会議員 三輪由美  
松戸市議会議員 宇津野史行 山口正子  
平田きよみ ミール計恵

この間の台風など自然災害に対し、配備体制を敷くなどご努力に感謝致します。日本共産党も独自に災害対策本部を立ち上げ情報の提供や避難者への要望の聞き取りや支援をして参りました。この間の経験を共有し、台風等大規模災害に対して、万全な対策が実施できるよう、以下の要望をお伝えし、懇談を希望します。

### 記

1. 災害時の避難所について、一部の避難所を開設する場合には前もって防災無線や広報車で周知すること。避難所近隣の駐車場を確保するなど、車での避難を想定した受け入れ態勢を構築すること（特に市民センターの場合）。
2. 避難所は、避難した人が安全に安心して避難できるよう、管理し整備されている施設を指定すること。また、避難所の開設が決まったら、受付やパーテーションの用意、避難者の属性に応じた部屋割りなど、出来る限りの受け入れ体制を整えること。
3. 避難所では、自主避難の段階であっても避難者に対して、非常食（アルファ米・おかず・ミルク・離乳食等）や水・寝具類等の物資の提供をするなど、避難者に寄り添った柔軟な対応をとること。
4. 各避難所に「避難所」であることの明示を徹底すること。広報車を含めた市民への周知の仕方を検討すること。市の災害対策のホームページを、最新の情報をアクセスしやすくわかりやすくすること。
5. 防災無線が聞こえづらい実態があり、点検すると共に、時差放送の導入など聞こえ易く改善すること。また聞こえにくいところには受信機の配布を検討すること。
6. 激甚災害や災害救助法の適用がなくても、住居や農作物被害に対し柔軟な補助制度を作り、被災者の生活再建を支援すること。
7. 避難所となる学校の校舎や体育館の老朽化に対し、改修を急ぎ、トイレのバリアフリー化も進めること。また夏・冬の避難を想定し、早急に体育館へのエアコン設置を進めること。

以上